

# 鉄道をもっと楽しむ

鉄道は日本全国津々浦々に敷かれています。通学や通勤、買い物などの毎日の生活に欠かせない身近で交通機関で、国内で非常に発達しました。また、旅行や転勤、引越しなどで移動する際に鉄道を利用する場合も多いため、人生の転機や思い出と結びついた乗り物として鉄道に特別な思いを抱き、愛着を持っているファンが多くいます。

そして最近、鉄道ファンは更に増え、性別や年齢層も広がってきました。今回は、最近のブームのなかでの、鉄道のいろいろな楽しみ方を紹介します。

## 鉄道ブーム

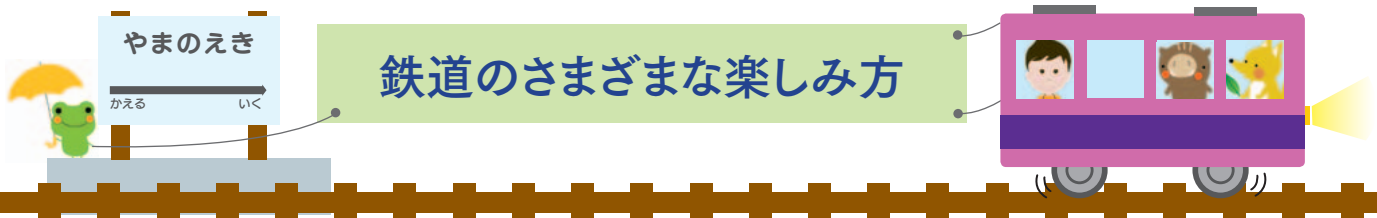
1872年に日本に鉄道が開通してから約100年にあたる1970年代に第一次鉄道ブームが起きました。電気機関車が主流を占めるようになり、日本全国で蒸気機関車が次々に廃車され、それを惜しむ人々がカメラを片手に全国各地の駅や線路沿いに集まりました。しかし蒸気機関車が完全に消えると、鉄道ブームは沈静化していきました。

そして2000年代に第二次鉄道ブームがやってきました。その背景にはデジタル技術の発達があります。手軽に鉄道を撮影できること、そしてインターネットで多様な情報が即座に入手できるようになったことで、より多くの人たちが鉄道の魅力に触れる機会が増えました。現在、鉄道ファンは150万～200万人近くいるといわれ、中でも熱狂的な鉄道ファンは約2万人存在するそうです。

特に最近の鉄道ブームの特徴は、女性の鉄道ファンの増加です。今まで、鉄道ファンはオタクの男性が多いというイメージがありました。しかし、鉄道で旅をする女性を題材にした漫画『鉄子の旅』(2002年～)とドラマ『特急田中3号』(2007年)により、女性の鉄道ファンに対するイメージが変わりました。女性の鉄道ファンは「鉄子」と呼ばれますが、中でも、鉄道好きの子供「子鉄」と一緒に鉄道を楽しんでいる母親「ママ鉄」を対象にしたグッズ、イベント、書籍が増加しています。



鉄道に興味のなかった女性漫画家が、鉄道ファンのトラベルライター男性と一緒に鉄道で全国を旅をするコメディ。



### みる

鉄道ファンにとって一番基本的な楽しみは、鉄道を見ることです。いくつもの線路が一度に見える場所や、列車が美しく見える場所には、たくさんの方が訪れます。

### 「トレインビュー」に泊りながら鉄道鑑賞

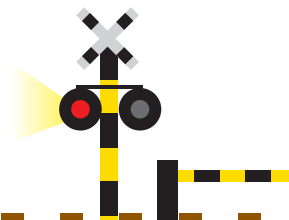
鉄道ブームに目をつけたホテルが、窓から線路や列車、駅や車庫などが見下ろせる部屋を「トレインビュー」と呼び売り出しています。「トレインビュー」の部屋には鉄道模型が飾られていたり、宿泊すると鉄道グッズがもらえたり、鉄道ファンが喜ぶ工夫を凝らしています。この部屋に泊まるために遠方から訪れる鉄道ファンもいて、普通の部屋よりも予約がたくさん入るそうです。トレインビューに宿泊する魅力は、普段は横から見ている鉄道を、高いところから見下ろすことができることです。それはまるで精巧な鉄道模型と街の模型のように見えます。

### ママ鉄、子鉄の鉄道ウォッチング

ママ鉄が母親の視点で選んだ場所を紹介したガイド本『子鉄&ママ鉄の電車ウォッチングガイド』(棚澤明子著、樫出版社、2009年)が発売されました。このガイドブックでは、母親が子どもと一緒に安心して鉄道ウォッチングできる場所がまとめて紹介してあります。また、鉄道を見ながら食事ができるお洒落な場所など、子どもだけではなく母親もゆっくりと楽しめる場所も紹介されています。この本の発売によって、母子の鉄道ウォッチングが更に手軽なものとなり、ママ鉄、子鉄が増えるきっかけになりました。



ママ鉄、子鉄に人気の公園。ここから新幹線が見える。



## の乗る

本来、列車は目的地に向かうための輸送手段です。しかし最近では、列車に乗車することそのものが大きな楽しみのひとつになっています。

### ファンの心をくすぐる鉄道ツアー

ここ数年、一度で複数の新幹線に乗るツアーや、廃車になる直前の列車に乗るツアー、車庫を見学するツアーなどに人気が出てきました。たくさんの列車に効率よく乗ったり、個人では行けない場所に行ったりすることができます。これらのツアーの魅力です。また、ツアー参加者には、記念切符やキーホルダーなどの記念品が配られますが、この記念品を集める鉄道ファンもいます。このようなツアーを数多く企画している旅行会社によると、今までは男性の参加者がほとんどだったのが、最近では、ママ鉄や子鉄の参加が増えてきたそうです。



廃車になる列車に乗るツアーパンフレット。

### 夏の思い出は鉄道スタンプラリー

ママ鉄と子鉄の夏の風物詩として、鉄道スタンプラリーがここ数年で定着しつつあります。鉄道スタンプラリーとは、主催する鉄道会社の沿線各駅を、列車に乗って周遊し、駅構内に設置されたスタンプを押していくイベントのことです。集めたスタンプの



「ポケモンスタンプラリー」に参加しているママ鉄と子鉄。

数に応じて、記念品がもらえます。子どもの夏休みにあわせて、全国の鉄道会社がさまざまなスタンプラリーを開催しています。

例えばJR東日本が毎年夏に行っている「ポケモンスタンプラリー」は、とても人気があり、毎年20万人を超える人が参加しています。都内を中心とした95駅に、ポケットモンスター(略してポケモン)のキャラクターのスタンプが設置されていて、子どもたちはスタンプを押すためにそれらの駅を訪れます。



## と撮る

デジタルカメラの普及と携帯電話の写真機能の発達により、鉄道の撮影がより身近なものになり、手軽に楽しめるようになりました。

### 撮影する楽しみ

自宅の近くを走っている列車はもちろん、1日1往復しか走らない特別な列車、貨物列車、あるいは珍しい外観の列車まで、カメラを片手に全国各地を訪れる鉄道ファンがたくさんいます。撮影した写真はインターネット上で公開され、ファンの中で情報交換されています。

特に、廃止されることが決定した列車が最後に走行するラストランは一大イベントです。廃止を惜しむ鉄道ファンやその鉄道に特別な思い出を持っている人たちが全国から押し寄せ、ホームや駅構内はたくさんの人たちであふれかえります。当日、車体にはラストランを記念して飾りがつけられ、式典やグッズ販売、駅構内での写真や年表、鉄道備品の展示などが行われます。



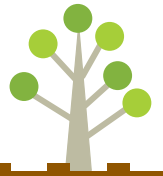
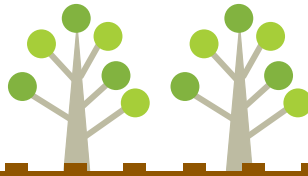
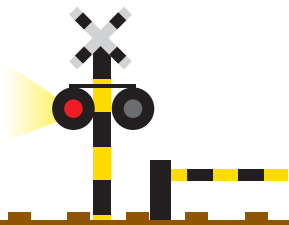
愛知県の本宿駅にて7700系ラストランの様子。2010年3月21日

### 問われるマナー

鉄道ファンが増える一方、一部の鉄道ファンのマナーの悪さが問題になっています。他の人の迷惑を考えずに撮影をしたり騒いだり、立ち入り禁止区域に侵入して撮影したり、走行中に運転手の邪魔をしたりする人もいます。これらの行為は、鉄道ファン全体の評判を下げるだけではなく、重大な事故につながる可能性もあるため、大きな社会問題になっています。







### まな 学ぶ

鉄道について知ることができる博物館は全国にいくつもあり、大人も子どもも楽しく過ごすことができます。来場をきっかけに、鉄道ファンになる人もいます。

## 体感型博物館で楽しく鉄道を学ぶ

2007年に埼玉県にオープンした鉄道博物館(The Railway Museum)は、鉄道ファンだけでなく多くの人びとの注目を浴びています。その理由の一つは、従来の展示中心型の博物館と比べ、運転体験施設が充実していることです。例えば、屋外に敷かれた線路を自分で運転して走るミニ列車や、実際の走行を完全再現してまるで本物を運転しているような気分になれる世界初の精巧なSLシミュレーターなどがあります。

もちろん、展示物も充実しています。鉄道開業当時から今に至る貴重な歴史的資料58万点が閲覧できるだけでなく、日本最大規模の線路延長約1400メートルもある模型鉄道ジオラマも展示されています。このように、鉄道の原理・仕組みや技術、システムなどを、楽しみながら学ぶことができるとあって、オープンから2年半の間に230万人もの人たちが訪れています。



鉄道博物館。ターンテーブル(転車台)に載った蒸気機関車は、一日に数回、汽笛を鳴らします。

© Kanegen



### つく 作る

鉄道模型にはさまざまな価格、バリエーションがあり、大人から子どもまで楽しむことができます。

## 体感型博物館で楽しく鉄道を学ぶ

2007年に埼玉県にオープンした鉄道博物館(The Railway Museum)は、鉄道ファンだけでなく多くの人びとの注目を浴びています。その理由の一つは、従来の展示中心型の博物館と比べ、運転体験施設が充実していることです。例えば、屋外に敷かれた線路を自分で運転して走るミニ列車や、実際の走行を完全再現してまるで本物を運転しているような気分になれる世界初の精巧なSLシミュレーターなどがあります。

もちろん、展示物も充実しています。鉄道開業当時から今に至る貴重な歴史的資料58万点が閲覧できるだけでなく、日本最大規模の線路延長約1400メートルもある模型鉄道ジオラマも展示されています。このように、鉄道の原理・仕組みや技術、システムなどを、楽しみながら学ぶことができるとあって、オープンから2年半の間に230万人もの人たちが訪れています。



まるで本物のような鉄道模型の世界。

© TOMYTEC Co., Ltd.



A Plarail.

© TOMY



大手出版社とコラボレーションした、冊子と一緒に発売されているプラレール。(付録のプラレールには、電池、レールは付属していません)



### あつ 集める

切符や車両部品などは昔から人気があるコレクションアイテムですが、最近では、各鉄道会社の車両を模したおもちゃや日用品も発売され、コレクターが増えています。

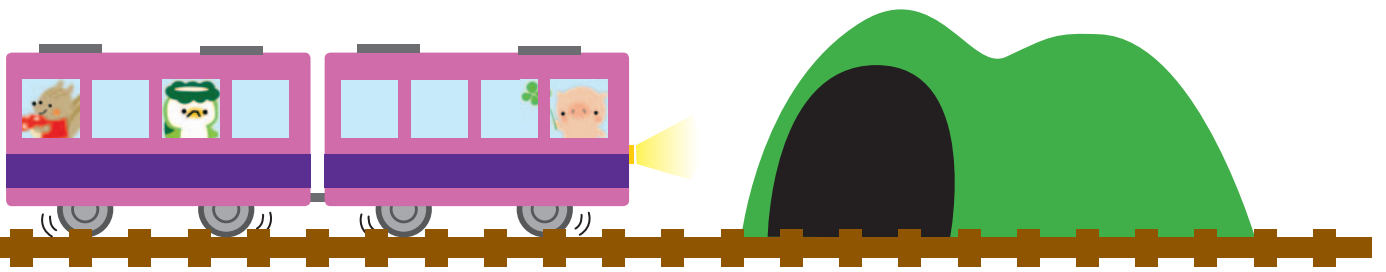
## 鉄道グッズ

会社ごとにさまざまな鉄道グッズが発売され、鉄道を模した日用品や文具、菓子などから、オリジナルキャラクターのフィギュアまで、いろいろなグッズが発売されています。鉄

道関連の博物館だけではなく、各駅の売店や鉄道グッズ専門店、インターネット通販など、いろいろな場所で購入することができます。



メッセージボード、ICカード乗車券ケース、ティッシュケース、フィギュア、警報ブザー  
© SEIBU RAILWAY Co., Ltd.



## もっと広がる鉄道のユニークな楽しみ

### 有名駅長、その正体は…?

貴志駅には有名な駅長がいます。その正体は、猫の「たま」。もともとは駅に隣接する売店で飼われていましたが、その売店を撤去してしまうことになりました。しかし社長がたまを助けようと、2007年に駅長に任命して駅舎に住ませました。以来「ねこの駅長」の姿を見ようと大勢の観光客やメディアが訪れるようになりました。その経済効果は11億円といわれています。



大人気の駅長

© WAKAYAMA ELECTRIC RAILWAY CO., LTD.

### 食事をしながら鉄道を楽しむ

鉄道模型が展示されていたり、鉄道の名前を付けたメニューがあったり、店内がまるで車内ようだったり、鉄道ファン向けの飲食店「鉄道カフェ」や「鉄道レストラン」が人気です。大好きな鉄道の世界に包まれながら食事ができるということが、鉄道ファンの心を惹きつけています。

なかでも、東京にある「カレーステーションナイアガラ」は鉄道ファンの間ではとても有名です。注文したカレーは模型機関車で席まで運ばれます。鉄道の座席、駅で使われていた大時計、ナンバープレート、行先表示板など、鉄道に関連したコレクションが店内に並んでいます。このユニークな演出がうけて、全国、そして最近では海外からも鉄道ファンがやってきます。



「カレーステーションナイアガラ」の様子。

© TUF

## これからのエコな乗り物

鉄道は、自然環境への負荷が少なく、長距離を大量輸送できる乗り物です。飛行機や自動車など他の輸送交通機関と比べても、エネルギーの効率が良く、1人を1キロ運ぶときに排出される二酸化炭素は、自家用乗用車の9分の1、飛行機の6分の1です。このため、これからの主要な輸送交通機関として、世界的に注目を浴びています。車社会アメリカでも高速鉄道網の大々的な整備計画が発表され、また中国でも大都市圏での鉄道建設が行われています。そしてイギリス、ブラジル、ロシアなど、世界中で次世代の輸送手段として高速鉄道が導入されていく予定です。



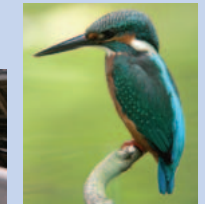
© JR Central

## 新幹線のデザインの秘密

日本だけではなく海外でも人気のある高速鉄道、新幹線。見た目の美しさだけではなく、空気抵抗を減らしより速く走るために計算されつくされています。そのデザインの大きなヒントになっているのは、何と、野生の動物です。例えば、500系新幹線の先頭は、音もたずに水面に飛び込み魚を捕るカワセミのくちばしの形をヒントにしています。これにより、トンネルへ入る際の衝撃音を和らげることに成功しました。最先端の技術のヒントが自然界にあったということは、とても興味深いことです。



カワセミのくちばしがデザインのヒントになった500系新幹線



カワセミ  
© photolibrary

© BONGURI

## ICカード乗車券で変わる暮らし

2000年ころ、鉄道にICカード乗車券が導入され、私たちの暮らしは大きく変わりました。ICカード乗車券とは、電子チップを埋め込んだカードで、定期券や切符、そして電子マネーとして利用することができます。カードをかざすだけで改札を通過でき、乗り過ごしても改札機で自動精算されるので、切符を毎回買う必要もなくなりました。またICカード乗車券は、多くの店舗で電子マネーとして買い物にも利用でき、クレジットカードや携帯電話と一体化したものもあります。このように、ICカード乗車券は日常生活全てに密着し、鉄道に乗ること以外でも、私たちの生活を便利にしました。



# 電車で親子の絆が強まった



ゆうや (小学校3年生)、ひろこ (母)、千葉県在住

ゆうやくんは電車に乗るのが大好きな「子鉄」です。ゆうやくんをあちこちに連れて行って、いろいろな電車に乗っているうちに、お母さんのひろこさんも気がついたら電車が大好きな「ママ鉄」になっていました。今号は、そんな二人を紹介しします。

**Q:** ゆうやくんが電車を好きになったのはいつ頃ですか。何かきっかけはありますか。

**ひろこ:** 生後5ヵ月頃、夕方になると、ゆうやが大声で泣き出すようになりました。抱っこしても泣き止まないで困ってしまいました。それで、モノレールや電車を見せに家の近くの草っぱらに連れて行くと泣き止んだんです。次の日も、その次の日も夕泣きが始まったゆうやをその草っぱらに連れて行くと、ぴたりと泣き止む。2ヵ月ぐらい、毎日行きました。これが、電車にはまる大きなきっかけでした。その後、夕泣きがおさまってからも、ゆうやが電車を見て喜ぶので、この草っぱらにはよく行きました。

**Q:** 電車のおもちゃも好きでしたか。

**ひろこ:** ええ、どこに行くにも電車のおもちゃがいっしょでした。

**ゆうや:** 今はプラレール\*が大好き。プラレールの電車を30個ぐらい持っているよ。ママもプラレールをつくることあるよ。ぼくの誕生日に学校から帰ってきたら、ママが誕生日プレゼント



大好きなプラレール

だよって、プラレールをつくってくれていたことがあって、すごくうれしかった。あー、話したら、プラレールで遊びたくなくなってきちゃった!

**ひろこ:** 電車に乗った日は必ず電車遊びますね。乗った電車をプラレールで走らせたり、駅をつくって車掌さんや駅員さんの真似をして、「電車がまいります」「ドアが閉まります」とか、駅名を言ったりすることもあります。

**Q:** 今でも電車を見るのは好き?

**ゆうや:** うん!

**ひろこ:** 自宅から学校までの道中に陸橋があるんですが、そこからよく電車を見てるみたいですね。

**ゆうや:** 同じ路線でも色が違う電車が走っているのがおもしろい。学校に行くときにちょうど見られるんだ。それから、昔走っていた車両が1週間に1回ぐらい見られるんだ。見られたときは、「やったー!」ってうれしくなる。

**Q:** 今まで何種類ぐらいの電車に乗ったの?

**ゆうや:** たくさん乗りすぎてわからない。

**ひろこ:** ゆうやが3歳になった頃から本格的に電車の旅に行くようになりました。小学生になるまでは月に1回、多いときは2、3回どこかに行っていました。日光、箱根、前橋、大宮……。本当にいろいろな電車に乗りましたね。

1年生のときは、ポケモンスタンプラリー\*\*で95駅を5日間で制覇しました。遠い駅だと、片道2時間以上かかるので、95駅をどういう順番で回るのか作戦が必要なんですよ(笑)。スタンプラリー用に子供向けの時刻表が市販されているんですが、そのおかげで、ゆうやは1年生のときには時刻表が読めるようになりましたね。

**ゆうや:** いっぱい電車に乗れたし、ポケモンのスタンプもいっぱい押せたし、すごく楽しかった。また来年やりたい!

**Q:** どの電車の旅がいちばん思い出に残ってる?

**ゆうや:** 越後湯沢(新潟県)に各駅停車の電車で行ったこと! トンネルの前までは何もなく、トンネルを

出たら真っ白だった。雪の世界だった。

**ひろこ：**ゆうやが4歳のときに、家族3人で行ったんです。自宅を5時に出て、お昼頃着きました。雪景色を見たときに、ゆうやは「わーっーっ！」って大声を上げて喜んだのをよく覚えています。千葉では経験できないですからね。

**Q：**ほかに思い出に残っている旅はある？

**ゆうや：**この間の春休みに行った大阪！ 特急列車の南海ラピートに乗りに行ったんだよ。南海ラピートは先頭車両の顔がとがってて、車体は青色ですごくカッコよかった。

**Q：**行き先や乗る電車はどうやって決めるの？

**ゆうや：**最初にぼくが本で先頭車両の写真を見て、好きな顔をさがすんだ。電車によって顔が全部違うんだよ。それで好きな顔があったら、この電車はどこを走っているのかを地図で見て、ここに行きたいって言うんだ。南海ラピートもそうだったよ。こんな顔はあんまり見たことがなかったから、乗りたいって思った。写真よりずっとよかったよ。

**ひろこ：**ゆうやから行きたいところを聞いたら、私がそこに行くルートは何パターンか考えます。大阪に行ったときも、ルートを三つ考えました。



カッコよかった南海ラピート

日本は電車がたくさん走っているの、いろいろなルートが考えられるんですよ。それで、それぞれのルートでどんな電車に乗れるのか、どんな観光地や遊び場所があるのかといったことを、ゆうやといっしょに調べて、どのルートにするのか決めます。

こうやってゆうやといっしょに調べたり話をしたりすることで絆が強まったと思います。調べること、目的地まで行くこと、目的地で楽しむこと、どれも楽しい。それから、どの電車に乗りたいの

かを本で見ているうちに、ゆうやは漢字もかなり覚えましたし、日本地図もけっこう頭に入りましたし、集中力もつきました。

**ゆうや：**いろいろ考えて、計画を立てるのは楽しいから好き！

**Q：**電車のどんなところが好き？

**ゆうや：**いろいろな場所を走ってくれるところ。それから、窓の外景色を見るのがすごく好き！ いつもずっと外を見てる。トンネルを出たときに、雪の世界だったり、きれいな海が見えたりするのがすごくいい。稲妻も見たことがあるよ。

**ひろこ：**車だったら自分たちで目的地に行くという感じだけど、電車は私たちを目的地に連れて行ってくれる。車のほうが移動は楽なんですけど、電車は乗っていること自体が楽しい。それから、いっしょに行っている人と時間と空間を共有できるところが好きですね。車でも時間と空間は共有できると思うんですけど、電車のほうがその感覚が強いですよね。

**ゆうや：**ぼくも車だとすぐに寝ちゃう。電車だとずっと外を見ていても飽きない。

**ひろこ：**田園風景がずっと続いているだけなのに、ゆうやは寝ないでずっと見ていますね。親のほうが寝ちゃいます(笑)。

**ゆうや：**それから、まどに耳をくっつけて音を聞くのも好きだよ。ガタンゴトンっていう音や、向こうから電車が来るとビューッって音がしたりするのを聞くのが楽しい。なんでかわからないけど、電車によって音が違うんだよ。電車とすれ違うとき窓がゆれるのも好き。

**ひろこ：**ゆうやはそうやって体でいろいろなことを感じてますね。

**Q：**これから乗りたい電車はある？

**ゆうや：**うん。カッコいい電車にもっと乗りたい！

**ひろこ：**ゆうやが大きくなってきたので、もっと遠くに行きたいですね。九州や北海道の電車に乗りたいねって話しています。

### 好きなもの

#### 好きな食べ物

梅干と肉料理(特にハンバーグ、から揚げ)。梅干は毎日食べる。

#### 好きな色

青色と赤色。青色は海の色だから。赤は強い色、それと大好きな梅干の色だから！

#### 好きな教科

体育、とくにソフトボール投げ。



誕生日ケーキはいつも電車のケーキ。ケーキ屋さん、ゆうやくんがリクエストする電車の写真を持って行って特注する。